

平成27年度鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会第1回会議録

日 時 平成27年5月28日(木) 14:00～16:00
場 所 鎌ヶ谷市役所6階 第1・2委員会室
出席委員 内海崎貴子会長、平田真裕美委員、田中誠次委員、山田芳裕委員、
平林光江委員、堤弘実委員、石黒茂委員、竹内春美委員、
糟谷聡介委員
事務局 笠井市民活動推進課長、大伯男女共同参画室長、高橋主査、
中村プロジェクトマネジャー
記 録 高橋
傍聴者数 0名

会 議 内 容

- 1 開 会 大伯男女共同参画室長
- 2 会長挨拶 内海崎男女共同参画推進懇話会会長
- 3 会議録署名人の選出 名簿順により平林委員、堤委員が選出された。

4 議題

(1) 「男女共同参画推進計画」進行管理について(平成26年度)

(事務局) 資料により説明。

(会 長) ただ今のご説明について、何かご質問等がございますか。

ないようでしたら、私から1点、平成25年度と比較し進捗状況等で何か変化は見られますか。

(事務局) 事業の実施度で比較しますと「実施できた」のAが、平成25年度は86事業であったのに対し、平成26年度が93事業と増えており、また、平成25年度は「ほとんど実施できなかった」のCと「実施していない」のDがそれぞれ1事業ずつありましたが、平成26年度ではCが1事業のみということを考えますと、事業がより進んでいるものと考えております。

(会 長) そうしますと大きな変化としては、「実施できた」のAが平成25年度と比べ7事業増えており、事業の実施という観点からすると順調であるという認識でよろしいでしょうか。

(事務局) おっしゃるとおりでございます。

(会 長) それでは次に、進行管理表の目標ごとにご質問等いただきたいと思えます。目標1「政策・方針決定過程への女性の参画の拡大」の中で、委員の皆さまいかがでしょうか。

(平田委員) 事業NO1の女性委員比率目標30%の達成では、平成26年度の実績で女性構成比が26.3%となっていますが、平成25年度と比べ比率は上がっているのでしょうか。

(事務局) 平成25年度は、全審議会委員数601人に対し女性委員数が131人で21.8%ですので4.5ポイント上がっております。

- (会 長) ほかに、いかがでしょうか。
- (平田委員) 市が実施する事業では、保育を付けることで子育て世代の参加を促していると思いますが、保育の利用率は上がっているのでしょうか。
- (事務局) 例年、保育の実施一覧表を作成し、資料として委員の皆さまにご報告しておりますが、今回、庁内各課への調査依頼が遅れ作成できていないことから、利用率は把握できておりません。
- 昨年の状況から申し上げますと、事業自体に保育を付けているものの、対象となる年代がある程度絞られる事業では、保育の希望がないようなケースが多く見受けられます。
- 一方で、男女共同参画室で実施しております「きらりサロン」など講座では、保育定員を超えるような申込もございます。
- (平田委員) 実施事業に保育を付けることは大変良いことで、事業により保育を希望する方がいらっしゃらないことも分かりましたが、保育を付けたことで子育て世代の参加が促進されているかどうかを知りたくお聞きしました。
- 先ほど、対象年代が絞られるとのお話がありましたが、今後は、若い世代が参加したくなるような事業の設定などについて、工夫していく必要があるのではと感じています。
- (会 長) ほかに、いかがでしょうか。
- (竹内委員) 事業NO7の市女性職員の管理職への登用の促進があり、確かに平成26年度の実績では女性管理職比率が4.2ポイント上がっていますが、課題・調整事項等を見ますと、引き続き女性職員の管理職への登用の拡大を図るとなっています。
- おそらく人事室では、人事評価や勤務実績を踏まえ、管理職としての能力を精査し、昇任させていると思いますが、私は機会の公平かつ適切な方法としては、やはり試験による選考が比率を上げていくという観点からも、最も良い方法だと考えています。
- 学校の場合は、教頭以上が管理職に該当すると思いますが、どのような選考をされているのでしょうか。
- (石黒委員) 試験により選考されます。
- (会 長) 女性教員の場合、教頭あるいは副校長への選考試験を受けたがらないという傾向はあるのでしょうか。
- (石黒委員) 人事関係のことは把握しておりませんが、比較的に女性教員の受験も増えてきているように感じております。
- (糟谷委員) 市役所はどのようなのでしょうか。
- (事務局) 市役所は、係長昇任の際に試験はありますが、管理職は人事評価や勤務評定により選考されます。ご参考までに平成26年度の昇任試験の実績を申し上げますと、受験者数に対する昇任者数では男性が26人に対し10人、女性が17人に対し8人と合格率では、女性の方が高くなっております。
- (会 長) 竹内委員は、女性の管理職への登用の拡大には、やはり試験制度が必要だというご意見だと思います。
- (竹内委員) 幾日か前の新聞で見たのですが、校長や教頭の職は非常に忙しいことから、男女の教員ともに昇任したくないという方が増えているとあ

りました。このようなことを考えますと、ただ単に試験制度を導入すれば良いというわけではなく、アンケート結果にもありますように、家庭での役割分担を見直していかなければならないと思います。

(会 長) 柏市で午前中に審議会があり出席したのですが、柏市では女性の管理職登用拡大に向け、部長推薦での女性枠制度が導入され、平成13年度に0.9%であった管理職比率が、平成26年度では5.0%まで上がったという実績があります。5.0%が決して高い数字であるとは言えないのですが。ほかに、何かございますか。

(糟谷委員) 試験制度も良いのですが、昇任したいと思わないものの、目立たずまじめに仕事をしている職員もいると思います。そのような職員に目を向け認めてあげることで、職員の意欲を向上させていくということも大切ではないかと思えます。

(事務局) 部局ごとに枠を設けた優良職員の表彰制度がございます。

(会 長) 次に、目標2「男女共同参画の視点に立った意識改革・慣行の見直し」の中で、委員の皆さまいかがでしょうか。

(平田委員) 男女共同参画の視点も重要ですが、広報やホームページなどを見ると、外国人への配慮が足りないのではと感じています。

広報は、ホームページに自動翻訳機能が付き、広報誌では高齢者などへの配慮から文字が大きくなり大変見やすいのですが、外国人の居住者が増えてきている中で、広報にも工夫が必要なのではと思います。

(会 長) 事業NOでいうと17・18になりますね。また、事業NO20・21も関わってきますが、難しいとは思いますが何か工夫は可能でしょうか。

例えば、広報を見て内容が分からない場合など、間接的ではあっても説明ができるようなシステムがあれば良いのですが。

(平田委員) 外国人の方が必要としている生活に根ざした情報だけでも、自分が理解できる外国語の表記に、簡単に進めていけるようなホームページになれば良く、今後は、男女共同参画推進センターのホームページでも、そのようなシステムが必要になってくると思います。

私が参加した防災のシェイクアウト訓練では、英語でのアナウンスメントがされましたが、行政サービスの中に積極的にこのような工夫がされていけば良いのではと考えています。

(会 長) 男女共同参画室で、可能な範囲で構わないので、どのような工夫ができるのか考えていただければと思います。

(事務局) わかりました。

(会 長) 次に、目標3「男女のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の支援」の中で、委員の皆さまいかがでしょうか。

ないようでしたら、私から2点申し上げます。事業NO26の事業所に対する男女共同参画研修等の支援で、商工会にセミナーの情報提供をしたが依頼がなかったとありますが、ここ何年かこのような状況が続いているようです。また、事業NO27の農業委員における女性委員の登用では、女性委員がゼロという現状もあるようです。

この2点を改善していく必要があると思います

(田中委員) 農業委員については、農家世帯では男性の世帯主が多いので、現状

では難しいのではないかと思います。

(会 長) 女性の世帯主が増えていかないと難しいということですね。

(山田委員) 私は農業委員をしておりますが、選出方法が2年後には市長推薦になりますので、そこで女性委員が選ばれる可能性はあると思います。

なお、千葉市、市原市では女性の農業委員がいるようです。

(会 長) 柏市でも2名の女性委員がいらっしゃったと思います。

柏市の審議会では、農業委員会から審議会委員として1人就任されているのですが、その方は女性の家事労働が軽減され、普段女性が行っている家事労働に対する評価が高まっていくことこそが、真の男女平等につながっていくと言っておられました。

そのようなことから、単に女性委員の数を増やしていけば良いということではないのでしょうか。

(会 長) ほかに、いかがでしょうか。

(糟谷委員) 事業NO44にボランティア活動などの地域社会への参加の促進がありますが、私は20年以上ボランティア活動に参加していますが、女性に比べ男性の参加が少ないと感じています。

(会 長) 取組内容を見ますと、説明会や講演会などの開催日時の配慮や保育利用とありますが、男性の参加を促す意味での工夫が必要なのではないのでしょうか。保育の申込は1件であったとありますが。

(事務局) ボランティア活動に参加される方の年齢層が高いので、どうしても比較的に女性の高齢者の参加が多くなり、保育の需用もないのではと考えております。

(会 長) そうであれば、今後は退職後の男性の参加を促していく必要があるのではと思います。

(平田委員) この取組では、男女の比率はどのようになっているのでしょうか。

(事務局) 申し訳ございませんが、男女の内訳については把握しておりませんので、次回から内訳も明記させていただきたいと思います。

(平田委員) 性別、世代、ライフスタイルの異なる様々な方々に参加していただくためには、企画・立案の段階で事業の対象と同じ世代の意見を取り入れていかないと、集まらないのではないかと思います。

(会 長) 次に、目標4「女性に対するあらゆる暴力の根絶」の中で、委員の皆さまいかがでしょうか。

(平田委員) 事業NO56に雇用管理上の配慮の徹底があり、ハラスメントに関する相談件数はゼロであったとありますが、市職員のアンケート調査結果を見ると、「相談窓口は内容が漏れそうなので相談できない」「職場にいつらくなりそうなので相談できない」を合わせると男女ともに30%を超えているので、相談体制の工夫が必要なのではないかと思います。

(会 長) ハラスメントの相談体制は、どのようになっているのでしょうか。

(事務局) 相談員は6人おり、人事室、健康増進課、消防総務課から各1人、職員団体が推薦する職員で男女各1人、ハラスメントに関する有識者が1人、以上のような体制になっております。

(平田委員) アンケートの結果では、20・30歳代で相談窓口の周知率が低くなっているため、窓口を知ってもらう必要もあるのではないかと思います。

- (事務局) 年に数回ほど人事室で、相談窓口について庁内LAN等で周知を図っています。
- (会長) 今後は、相談窓口の更なる周知と併せて体制の充実も必要になってきますね。
- (事務局) わかりました。
- (会長) 次に、目標5「男女共同参画の視点に立った教育の充実」の中で、委員の皆さまいかがでしょうか。
- (平田委員) 事業NO62に男性の子育てのセミナーや研修の充実があり、平成26年度の実績にパパサロンを4回開催とあり、基本的に3回コースであるが1回での参加も可能としたとありますが、参加者は増えているのでしょうか。
- (事務局) 平成26年度の参加実績を申し上げますと、3回のサロンと1回の同窓会で延べ27組、54人の参加が得られておりますが、平成25年度の実績が把握できておりませんので、次回にご報告させていただきます。
- (会長) ほかに、ございませんか。なければ私から1点お聞きします。
学校教育における男女共同参画教育の推進で、事業NOでは58・59・60ですが、どれも実績内容を見ると非常に抽象的に書かれており、分かりにくいと思います。実際に、具体的にどのような資料を使い授業が行われたのか、このような書き方ですと理解しづらいですね。
- (石黒委員) 学校では、平等教育ということで男女が協力しあう大切さ、また、男女を問わず生徒個々が持っている力、個性を伸ばしていくということを前提に、道徳や家庭科の授業を中心に計画的に行っており、そのような中で生徒に男女平等の意識が根付いていけば良いのではと考えております。
- (会長) 他市の事例を申し上げますと、柏市では男女平等教育実践指導事例集を作成しており、東京都文京区の場合ですと、教員の研修として男女平等教育を開催したり、男女平等教育の授業を参観したりすることで向上が図られているようです。
道徳の授業の中で男女平等が組み入れられているとは思いますが、一歩進めていくのであれば、教育委員会の指導課等が中心となり教員への研修体制の充実を図っていく必要もあるのではないかと思います。
次に、目標6「男女共同参画の視点に立った安心・安全なまちづくり」の中で、委員の皆さまいかがでしょうか。
ないようでしたら、目標7「だれもが生涯を通じて健康に暮らせる支援の充実」の中では、委員の皆さまいかがでしょうか。
ないようでしたら、私から1点申し上げますと、事業NO73のリプロダクティブ・ヘルス・ライツでは、高校や中学校で思春期学習が実施されているようですが、これは取り入れられづらい授業であるので、これからも積極的に展開していただければと思います。
ほかに、ないようでしたら目標8「男女共同参画推進体制の充実及び男女共同参画推進センター運営の充実」の中で、委員の皆さまいかが

がでしょうか。ないようでしたら、議題の（２）男女共同参画推進に関する市職員・教員アンケート調査結果に移らせていただきます。

（２）男女共同参画推進に関する市職員・教員アンケート調査結果について

（会 長） 事務局より説明をお願いいたします。

（事務局） 資料により説明。

（会 長） ただ今のご説明について、何かご質問等はございますか。

ないようでしたら、私から１点申し上げますと、教員の１５ページに男女共同参画関連用語に関して「男女共同参画基本法」「セクシュアル・マイノリティ」「鎌ケ谷市男女共同参画推進計画」については名前を知っている程度とありますが、「鎌ケ谷市男女共同参画推進計画」を知らないが４３．９％と特に高く感じられるので、市の計画をもっと知っていただく必要があると思います。

ほかに、いかがでしょうか。

（平林委員） 議題（１）に戻りますが、事業NO60の性別にとらわれない進路指導の充実で、社会体験学習を実施したとありますが、具体的な内容と、生徒がどのような感想をもったのかお聞きしたい。

（石黒委員） 私は小学校ですので体験を受け入れる側ですが、教員の仕事をしたいと希望を出した中学生が小学校教員の業務を３日間体験し、「やりがいを感じた。」「大変さが理解できた。」など将来の職業選択に役立つ経験をしたのではないかと思います。

（会 長） 職場での体験学習は有意義な授業ですので、希望があれば女子が消防、男子が保育園の現場を体験するなど、性別にとらわれない経験が男女共同参画につながっていきますね。

ほかに、議題（１）のなかでもかまいませんので、いかがでしょうか。

（会 長） ないようでしたら、議題（２）につきましては終了とさせていただきます。

（３）その他

（会 長） では、会議次第（３）その他です。事務局、何かありますか。

（事務局） ３点ほどございます。

１点目は、平成２６年度の鎌ケ谷市男女共同参画事業の報告でございます。お手元の資料をご覧くださいませでしょうか。

１．各事業の実施状況でございますが、（１）の学習・研修事業では、男女共同参画週間事業をはじめとして、記載のと通りの種々の事業を実施いたしました。

次に、３ページの２．施策の推進等事業でございますが、本日開催させていただいております（１）の男女共同参画推進懇話会以下、主に施策の進行管理を議題として開催され、１８の関連課長が委員となって構成されている（２）の男女共同参画推進会議、（３）施策の推進についての庁内外への働きかけにつきましては、記載のとおりでございます。

２点目は、チラシをお配りしております平成２７年度の男女共同参画週間事業についてですが、今年度は、６月２７日（土）に市民会館

内にごございます「きらりホール」において、「人生、いろどり」という映画上映会を予定しております。

3点目は、今後の懇話会でございますが、本日お集まりいただいております委員の皆様は9月30日となっておりますことから、今年度につきまして、10月1日以降にあらためて委員の方々を委嘱させていただき、委嘱状交付式を兼ねた今年度の第2回目の懇話会を開催させていただくことを予定しております。

したがいまして、現在お集まりいただいております委員の皆様での懇話会は今回が最後となります。2年間にわたり貴重なご意見をいただき、また、活発に議論していただきことに、心よりお礼申し上げますとともに、大変お疲れ様でした。

なお、進行管理表、第1次実施計画進捗状況（平成26年度）、平成27年度 事業集計結果につきましては、本日のこの会議でいただいたご意見、ご指摘いただいた修正点を踏まえまして、事務局で十分に精査させていただき、7月上旬目途に市ホームページへアップすることとなっております。

以上でございます。

(会 長) ただ今の事務局からの説明に対し、何かご質問等がございますか。ないようでしたら、本日の会議は終了とさせていただきます。委員の皆様さまお疲れ様でした。

○以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年7月4日

氏名 平林 光江

氏名 堤 弘実